



第17-64号

2017年11月29日

厚生労働省 平成29年度「均等・両立推進企業表彰」
ファミリー・フレンドリー企業部門 厚生労働大臣優良賞を受賞
 ～鉄道現業における段階的な復帰支援の先進的取り組みが評価されました～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、厚生労働省が主催する平成29年度「均等・両立推進企業表彰」において、ファミリー・フレンドリー企業部門の厚生労働大臣優良賞を受賞しました。

本表彰は、「女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取組」または「仕事と育児・介護との両立支援のための取組」について、他の模範ともいえるべき取り組みを推進している企業を表彰し、これを広く国民に周知することにより、男女ともにそれぞれの職業生活の全期間を通じて持てる能力を発揮できる職場環境の整備の促進に資することを目的に実施されるものです。

このたびの受賞では、法定を上回る育児・介護関連制度の整備に加え、鉄道現業におけるライフステージに応じた段階的な支援制度の設計や、短時間勤務者専用作業ダイヤの設定など、仕事と家庭を両立しながらキャリアアップを図れるように、現場復帰を支援している点が評価されました。

当社では、多様な人材が活躍できる組織づくりを成長戦略の一つと捉え、その実現のために、引き続き労働環境の整備に積極的に取り組んでまいります。

【別紙】受賞にあたり厚生労働省から評価された取り組み



女性社員向けワークショップの様子



本人・上司・人事による産前休暇前面談の様子

以 上

平成 29 年度 均等・両立推進企業表彰
厚生労働大臣優良賞 ファミリー・フレンドリー企業部門

小田急電鉄株式会社

所在地：東京都新宿区 業種：陸上交通運輸業 従業員数：約 4,000 人

仕事と家庭を両立しながらキャリアアップを図れるよう、 段階的な支援制度の設計と専用行路等の設定により現業職の現場復帰を支援

1 両立支援に関する基本方針

- ◇ 多様な人材が活躍できる環境を整備するため、法定を上回る両立支援制度を導入。平成 27 年度からは、仕事と家庭を両立しながらキャリアアップも図れるよう、段階的な現場復帰の施策を導入。特に現業職（運転士・車掌等）の現場復帰を手厚くサポート
- ◇ 人事部労務担当・福利厚生担当がダイバーシティ推進業務も兼務し、各種取組を推進

2 育児休業制度

- ◇ 制 度 子が満 2 歳（事情により 3 歳）に達する日の前日まで取得可。失効年休の積立制度の利用により、最大 50 日間を有給化することが可能
- ◇ 利用状況 平成 28 年度の育児休業取得率 男性 10.7%、女性 100%
平成 28 年度の男性の平均休業日数は 23 日（管理職も 27 日間取得）

3 介護休業制度

- ◇ 制 度 対象家族 1 人につき[連続休業]通算 3 年以内で取得可能。[指定日休業]通算 3 年以内で予め休業する日を指定して取得可能（月単位で指定）
- ◇ 利用状況 平成 28 年度に男性 10 名（うち 3 名は管理職）、女性 1 名が取得

4 勤務時間短縮等の措置

- ◇ 育児のための制度
 - ・ 短時間勤務制度：子が小学校 4 年生修了時まで、30 分を単位とし、1 日最大 2 時間（現業職（乗務員・駅係員）は 1 日 5 時間又は 6 時間勤務）まで利用可能
 - ・ 宿泊勤務免除：子が中学校入学時まで宿泊勤務の回数を半分まで免除
- ◇ 介護のための制度
 - ・ 短時間勤務制度：介護休業と通算して 3 年以内で、30 分を単位とし、1 日 3 時間 30 分以内で利用可能

5 その他の制度

- ◇ 鉄道現業職の育児短時間勤務者のために、乗務員用の専用行路（通常より短区間の行路）、駅係員用の専用ダイヤを設定し、現業職への復帰を支援
- ◇ ベビーシッター法人契約、ベビーシッター宿泊勤務補助制度により、休日勤務および夜間勤務の際のベビーシッター利用料を補助
- ◇ 早期復職支援として、子が 1 歳になる前に復職した場合、子が 1 歳になるまで月額 3 万円を支給
- ◇ 配偶者出産休暇の拡充（有給、5 日間）、未取得日数を育児休業に充当することを可能とすることにより、男性従業員の育児参画を促進。配偶者出産休暇の取得率は 9 割超

6 社内環境整備

- ◇ ワーク・ライフ・バランス実現のため、社内メールをスマホで閲覧できる C A C H A T T O の導入、プレミアムフライデー（対象日の年休取得促進）の取組等に注力
- ◇ 福利厚生ポータルサイト「小田急ワークライフサポートナビ」、「仕事と家庭の両立サポートハンドブック」等により、従業員への周知啓発にも注力

以 上